

西日本豪雨災害対策ニュース

2018年 7月 12日

No.1

発行：岡山医療生活協同組合
豪雨災害対策本部

可能な限り わたしたちができることを

岡山医療生協に豪雨災害対策本部を設置

岡山医療生協は、これまでに経験したことのない豪雨災害に対し、7月7日（土）対策本部を立ち上げ、組合員・職員の被災状況把握および被災地への支援をとりこんでいます。

全職員・組合員のみなさんの思いと力をひとつにして、できる限りの支援と、わたしたちの事業と活動を守り維持していきましょう。

第7回対策本部会議で確認された内容は、下記の通りです。

1. 倉敷支援は医師・看護師・事務チームで避難所訪問活動を継続します。
2. 平島、古都支援は、岡山市内民医連事業所と協力して、看護支援とボランティア支援を行います。
3. 各支援団体と連携し分担を決め情報共有し、市民に適切な情報を提供します。



ボランティア募集!

毎日ボランティアを派遣しています。参加できる方は、職責者を通じて本部企画課までご連絡ください。また、タオルやごみ袋などの物品も募集中です。



上道地域での支援活動



北区 冠光寺池(岡山市)
の様子



募金にご協力を!

被災者・被災地支援のために、職員のみなさんに募金を呼びかけています。現在、少しずつ募金袋が届いています。ご協力をよろしくお願いします。(本部総務部まで)